

プリウスα(ZVW40)の補機バッテリーの交換をしました

更新日：2020年9月15日

今日は、プリウスαのバッテリー交換作業がありました。一部のモデルを除きまして、基本的にはベースとなります30系プリウスと同じで、Sグレードは「S34B20R」、Gグレードは「S46B24R」というハイブリッド専用バッテリー（排気ホースが取り付けられるもの）が装着されています。

プリウスαの補機バッテリー交換

当店では、運転席足元のOBD II コネクタでバックアップを取りますが、一般ユーザー様は、市販されているバックアップキットを使ってエンジンルーム内のヒューズボックス内にあるプラス電源でバックアップを取られるのがよろしいかと思えます。



エンジンルーム内にあるヒューズボックスを開けますと「+」と書かれたカバーがあります。これを開けるとジャンピング用のプラス電源に接続させることができます。



ここでは、エーモンのバックアップキットを使用しました。単三電池×6本を使用します。これですと1.5V×6=9Vで、12Vには足りませんので、ルームランプなどは予め点灯しないようにされておくと良いと思います。



補機バッテリーはトランクルーム内の向かって右側の右リヤタイヤ後ろに装着されていますので、先ずトランクフロアカバーと収納ケースを取り外しておきます。



次に、バッテリー上部のカバーを取り外します。上方向に持ち上げてやれば取り外せます。ここまでの作業は工具不要です。



プラス側の短側面に排気ホースがある以外は、普通の国産車と同様の手順でバッテリーの交換作業が可能です。バッテリー本体上面の固定ステーを外し、マイナス、プラスの順にターミナル部を緩めていきます。工具も10mmのスパナが1本あれば事足りますので、車載工具でも作業出来るかと思えます。

お客様のお車は「S46B24R」が装着されていたので、ブライトスターでは「N55R/75B24R」が適合製品になります。



旧バッテリー、排気ホースを取り外したところです。バッテリー上面の固定ステーは、画像のように上方に避けておけばバッテリーの脱着は可能です。



新バッテリーを元あったように車両に取り付けていきます。排気ホースは純正品（元のバッテリーのもの）とは形状が異なりますので製品に付属のものを使用しています。



ブライトスター製品は、上記のようにCCA値の実測値でも純正品を大きく上回りますので安心してお使いいただけるものと思います。

Brite Star N55R/75B24R ¥15,500（税込）工賃¥2,200

ご注文は公式サイトのご注文フォームよりお願い申し上げます。店頭での取り付け作業に関しましては [こちらのページ](#)の要領で予めご来店日時のご予約をお願い申し上げます。

